

〈資料2〉

「かがやき手帳（個別の相談記録手帳）」アンケート集計（抜粋）

回答数：100

問1 かがやき手帳は記入しやすいですか。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- 1 記入しやすい（8） 2 わりと記入しやすい（50）
3 記入しにくい（27） 4 無回答（15）

問2 問1で「3」と回答された方におたずねします。記入しにくい理由をお書きください。

- ・書くスペース（記入欄）が少ない。（4）
- ・年齢で細かく分けずに、もっと簡潔に書けるとよい。（3）
- ・2と3の欄が重複しているので、もっとスッキリした方が書きやすい。
- ・項目が分かりにくい。
- ・就学前は、3～6歳の方がよいと思う。

問3 今後もかがやき手帳を活用したいですか。（あてはまるもの1つに○をしてください。）

- 1 大いに活用したい（2） 2 活用したい（57）
3 あまり活用したくない（21） 4 活用したくない（3）
5 無回答（17）

問4 多くの方がかがやき手帳を活用するためには、どのようなことが必要だと考えますか。（あてはまるもの全てに○をしてください。）（複数回答）

- 1 かがやき手帳の活用方法等の説明（41）
2 かがやき手帳の広報活動（36）
3 医療機関や相談機関等におけるかがやき手帳活用の普及（61）
4 かがやき手帳の記入方法の簡略化（貼付等）（23）
5 その他（6） ・医療機関からの記入。（2）
 ・入院、訓練の日付等、記入欄がたくさんあるとよい。
 ・医療関係者の障害児者への理解。
6 無回答（11）

問5 かがやき手帳は、どの大きさがよいと考えますか？

- （あてはまるもの1つに○をしてください。）
1 A6判（現行サイズ）（84） 2 A4版（5）
3 その他（2） 4 無回答（9）
 ・母子手帳にはさむ形。

問6 かがやき手帳には、どのような内容を記入したいと考えますか。

- （あてはまるもの全てに○をしてください。）（複数回答）
1 本人プロフィール（現行）（64）
2 各期の相談・診療記録（現行）（74）
 ① 通園・通学等の記録（現行）（7）
 ② 健康診断、相談、医療機関等の受診記録（現行）（11）
 ③ 継続した治療、訓練、入院、相談等の記録（現行）（14）
3 出生時の記録（新規）（40）
4 発育・発達の記録（新規）（48）
5 その他（6） ・内服薬、検査データ
 ・既往症、予防接種、緊急連絡先など
 ・緊急時の対処方法など（パニックや発作など）
 ・子供への対応、注意点
 ・性格やアレルギーなど
6 無回答（12）

問7 かがやき手帳に期待することやご意見などをご自由にお書きください。

〔体裁、様式、内容〕

- ・MEMO（記録）のスペースをもう少し広くしてほしい。（4）
- ・治療や訓練は長期にわたるので、2と3は期別ではなく、項目別の方が書きやすい。（3）
- ・母子手帳に挟み込んで使用するならば、何か母子手帳とくっつけられる工夫があればよい。
- ・母子手帳、療育手帳、保険者証、福祉受給者証、診察券など準備するものが多いので、まとめることができないか。
- ・ファイルみたいになっていると使いやすい。
- ・折れ曲がらないようにカバーがあればよい。

〔活用方法〕

- ・もっと小さい時（出生時や初診時、障害が分かった時）に配られると使いやすい。（4）
- ・この手帳をもっと早く知りたかった。子供が生まれてからずっと日記を書いている。同じ県内なのに病院のつながりはあまりなく大変だった。この手帳でいろいろなつながりができればうれしい。
- ・初めて受ける時は、必ず同じような質問を受けてきたので、かがやき手帳をもっと早くから知りたかった。（2）
- ・小さいときから持っていて、関わった機関に記入してもらえれば活用しやすい。
- ・就学前にはいろいろな所で説明するので必要感があるが、ある程度成長すると必要感がなくなる。
- ・サポートブックの役割をもたせてほしい。（2）
- ・この手帳を提示することで、病院の待ち時間を少なくしてくれたり、子供の様子を聞きに来てくれると助かる。（2）
- ・自分の覚え書きとしてよい。特定の親に渡すのであれば、手帳の渡し方（タイミングや勧め方）が難しい。

〔広報活動〕

- ・多くの方が、手帳を活用できるように、広報活動、手帳活用の普及に取り組んでほしい。
- ・市役所にポスターをはったり、広報に載せたりしてもっと知らせてほしい。
- ・もう少し広報活動をしてほしい。
- ・医師からも手帳のことを聞かれなかった。先方から声をかけてもらおうと手帳を出しやすい。
- ・説明会があればよい。